

★スタッフ

監督……………アービン・カーシュナー
 製作……………ゲイリー・カーツ
 製作総指揮/ストーリー……………ジョージ・ルーカス
 脚本……………リリー・ブラケット
 ………………ラリー・キャスダン
 小説化……………ドナルド・F・グラット《徳間書店刊》
 撮影……………ピーター・シャツキー
 音楽……………ジョン・ウィリアムズ
 サウンドトラック・レコードとテープ
 ………………ポリドール・RSOレコード

★キャスト

ルーク・スカイウォーカー……………マーク・ハミル
 ハン・ソロ……………ハリソン・フォード
 レイア・オーガナ姫……………キャリー・フィッシャー
 ロボットC-3PO……………アンソニー・ダニエルズ
 ロボットR2-D2……………ケニー・ベイカー
 ダース・ベイダー……………ティフ・ブラウス
 チューバッカ……………ピーター・メイヒュー
 ランド・カルロシアン男爵……………ピリー・ティール・ウィリアムズ
 《上映時間＝2時間4分》



★世界が待ちに待った！史上最大のヒット映画がスクリーン3倍、面白さ10倍でやってくる！

全世界で二億四千七百万ドルという史上最高の配収記録を樹立したスター・エンターテインメント映画、待望の続編がやってくる。

今回は前作の三倍にあたる二千五百万ドルの製作費が投入され、知恵とアイデアを凝らして面白さ十倍の一段とパワー・アップされたSF映画史上最高の大作となっている。

ストーリーはジョージ・ルーカスが書き、彼は製作総指揮をとり、編集、特殊効果にもタッチしているが、監督は「アイズ」のアービン・カーシュナーにバトン・タッチしている。

死の星(デス・スター)が爆発し、悪の権化ダース・ベイダーが逃げだしたところで前作は終わったが、ダース・ベイダーと帝国軍は、ルーク、ハン・ソロ、レイア姫たちの居場所をしつこく追及し、ホス(氷の惑星)で戦闘訓練をしている反乱軍を発見。雪と氷に閉ざれた惑星ですさまじい戦闘が展開される。このシーンは雪のノルウェーにロケして撮影されたが、これが「帝国の逆襲」の最初の見せ場である。前作のマーク・ハミル、ハリソン・フォード、キャリー・フィッシャーが再登場。人気者のチューバッカ、ロボットC-3PO、R2-D2も大活躍。ことに愛嬌者のR2-D2は少し改造され五種類の活躍を見せる。その一つは潜水術で、走るときは三本足になったり、別のところから手が出るなど複雑な動きを見せて人間味を加えている。レイア姫のロマンもあり、ス・ペース・アクシオンの凄味に、今回は人間的な厚味と深さを加えて、ヒーロー的な味わいが一段と加わっている。

★どきも抜く新兵器とキャラクターが続々と新登場！眼もくらむ壮大な宇宙艦の魅惑！

今回は、続々と面白く新兵器とキャラクターが登場しているのが話題だ。その一部を紹介しよう。ダース・ベイダーの乗るエクゼクターと呼ばれる宇宙艦は11万個の電球をつけた大都市のスカイラインそっくりの空のマンモス。帝国軍は氷の上を四つ脚で突っ走るAT-AT・スノウウォーカー(全地域用装甲歩行機)、プロボット(帝国探知ロボット)などアツと驚く新兵器で反乱軍

を倒す。さらにダース・ベイダーは賞金めあての悪漢たちをやとって、レーザ・ガン、ロケット・ダートなどを装備した凄く奴らが続々と登場。ハン・ソロたちとすさまじい宇宙戦争をエキサイティングに宇宙せましと展開する

のである。このハンターには触毛を生やした両頬類を思わせるエイリアンもあり、IG-88という戦闘ロボットもファンを驚かせる。

一方、ハン・ソロの乗る宇宙艇ミレニアム・ファルコン号が全貌を見せる。全長60フィート、高さ16フィート、重量40トンという巨大な宇宙艇で、ミレニアム・ファルコン号とダース・ベイダーのエクゼクターの宇宙での対決が手に汗にぎらせる。雲を背景に戦闘機が飛びかう空中戦は、白いマットを使用して特撮の新技術が開拓されている。

★氷の惑星から舞台は湿地帯の惑星へ！そして雲の惑星へと三転！大スケールで追撃！

ダース・ベイダーによってハン・ソロたちは四散し、ルークは飛行機でホスを脱出し一面、湿地帯の惑星ダゴバに不時着する。ここでルークは深い叡智をたたえたジェダイの騎士の師だったヨーダから霊力(フォース)を習得する。氷の惑星でルークが巨大な白い怪獣ワンパに襲われて傷つき、外科医のロボットたちに助けられるというエピソードも見せ場だ。

ワンパとルークの大格闘に息をのむが、氷の惑星で運用に用いられるラクダのような形をしたトーン・トーンという動物をはじめ星状の洞穴に棲息するマイノックというコモリのような形をした動物など、新キャラクターは、そのアイデアの凄さで驚かす。マイノックはス・ペース・シップの胴体には付着して宇宙艇を悩ませる。

一方、ハン・ソロとレイア姫が逃れたのは、ス・ペース(雲の惑星)——ハン・ソロと姫がルークのためにオトリとなってダース・ベイダーを迎え撃つと知ったルークは、急いでス・ペースに向い、ここで帝国軍を迎えてドラマは一大クライマックスに発展する。

ス・ペースでは、雲の都市の行政官、ランド・カルリシアン男爵(「ペリー・ホリデー物語」のペリー・ティール・ウィリアムズ)という新人物が登場。男爵はハン・ソロたちを陰から助けるのである。

反乱軍と帝国軍の戦争は、三つの惑星を舞台にして、予想もしない結末へとなだれこんでいく。

前作でアカデミー賞を受けた美術のノーマン・レイノルス、音楽のジョン・ウィリアムズ、衣裳のジョン・モロ、編集のポール・ハッシュが再び名チームを組み、特撮は「2001年宇宙の旅」「エイリアン」の名手ブライアン・ジョンソンが新しく加わった。かくて世紀のSF超大作は、79年3月5日の撮影開始から一年をかけてみごと完成したのである。

6月28日(土)ロードショー 70MM DOLBY STEREO 特別鑑賞券1200円/1000円発売中

- 東京地区 日劇/テアトル東京/新宿プラザ/新宿文化シネマ2/渋谷スカラ座/池袋劇場/江東キングキ/吉祥寺スカラ座
- 横浜地区 横浜東宝/相鉄国際/川崎スカイ
- 京阪神地区 O.S劇場/三番街シネマ3/東宝敷島/南街スカラ座/あべの地下/東宝公衆/京極東宝/阪急シネマ/神戸新聞会館大劇場
- 名古屋地区 毎日ホール大劇場/名宝スカラ座/エンゼル東宝 ●福岡地区 スカラ座/ニュー大洋 ●札幌地区 帝国座